

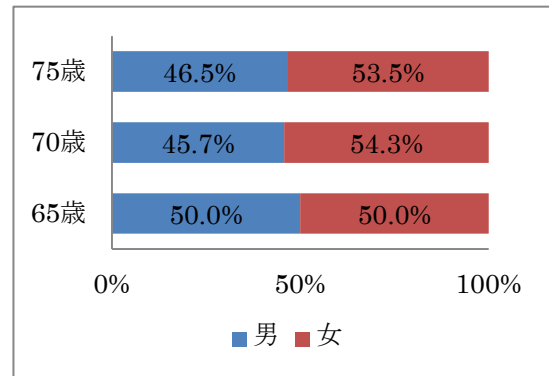
平成30年度 生活状態及び生活に関するアンケート結果

1. 対象者

※平成30年4月1日時点年齢

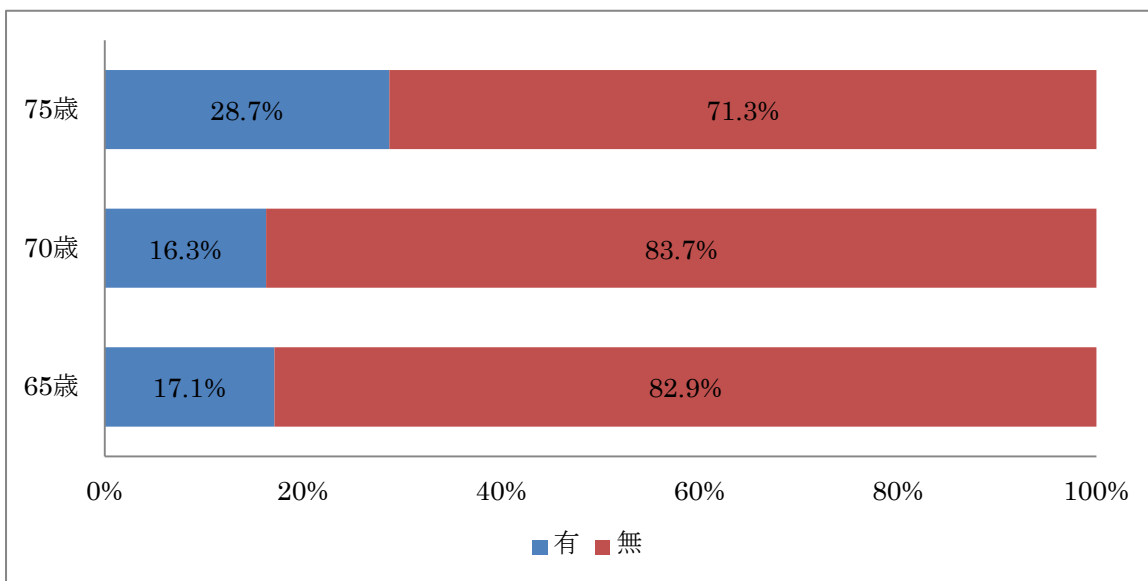
	65歳	70歳	75歳
送付数(人)	161	241	153
返信数(人)	76	129	101
返信率(%)	47.2	53.8	66.0

※返信者の性別構成

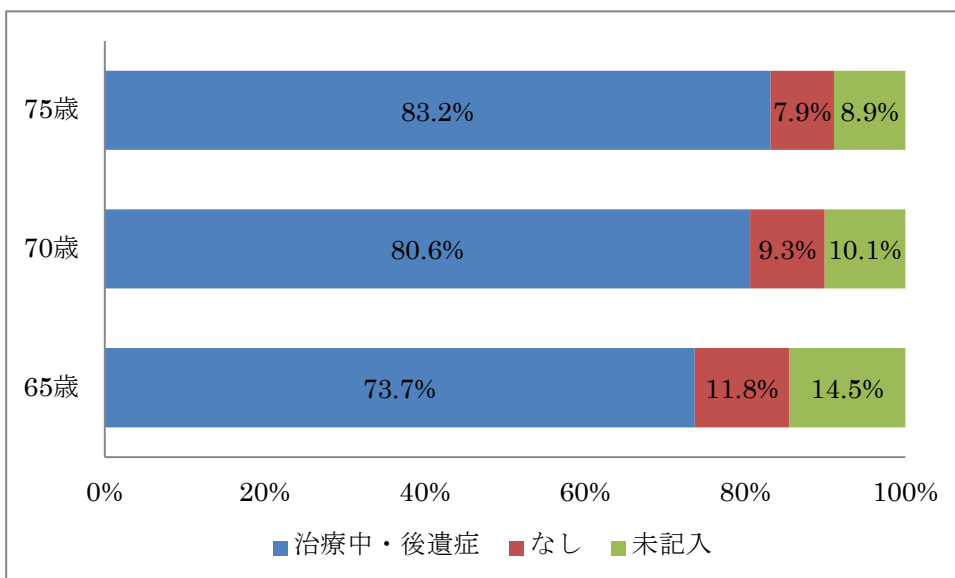


2. アンケート結果について

【問1】生活機能アンケート(基本チェックリスト) 該当者

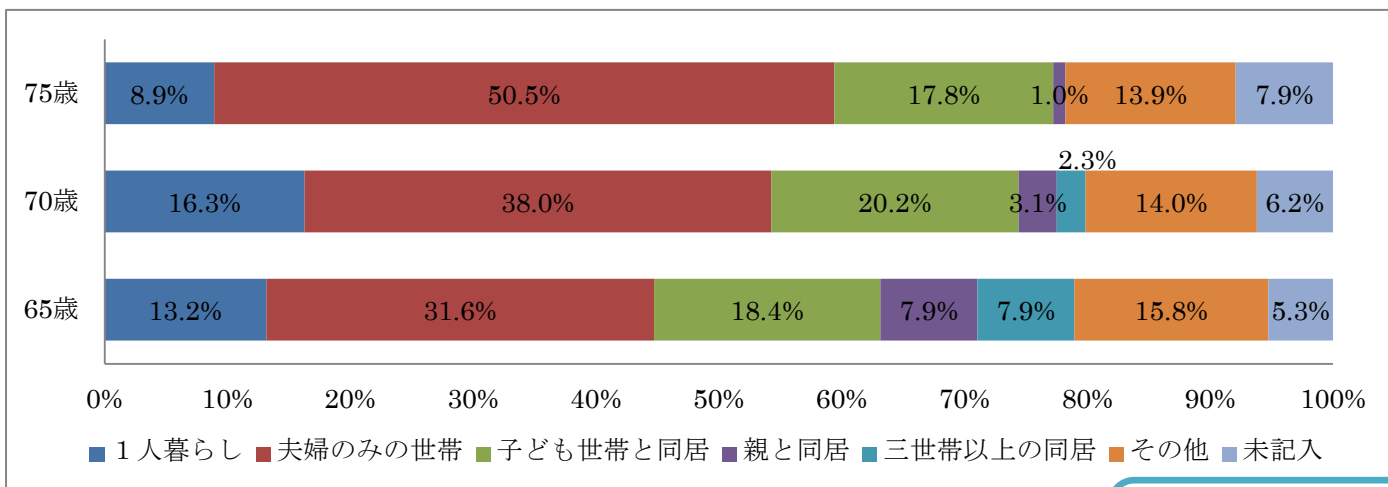


【問2】通院状況



【問3】 治療中、または後遺症のある病気（複数回答可）→別紙参照

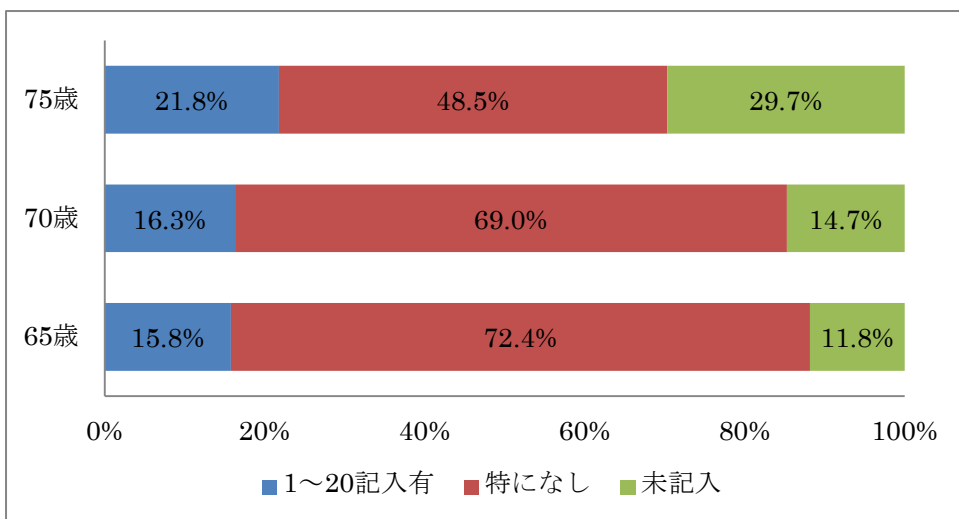
【問4】 家族構成



年齢が上がるほど、「夫婦のみ世帯」が増加

【問5】 生活する動作等のなかで不安や困っていると感じること

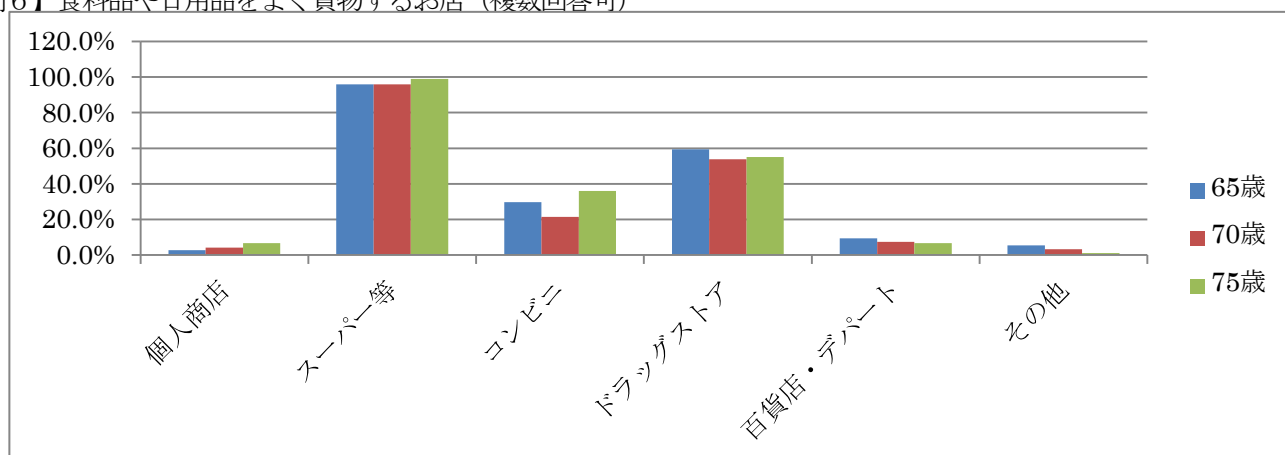
(1) 回答状況



年齢が上がるほど、「困っていると感じる」が増加

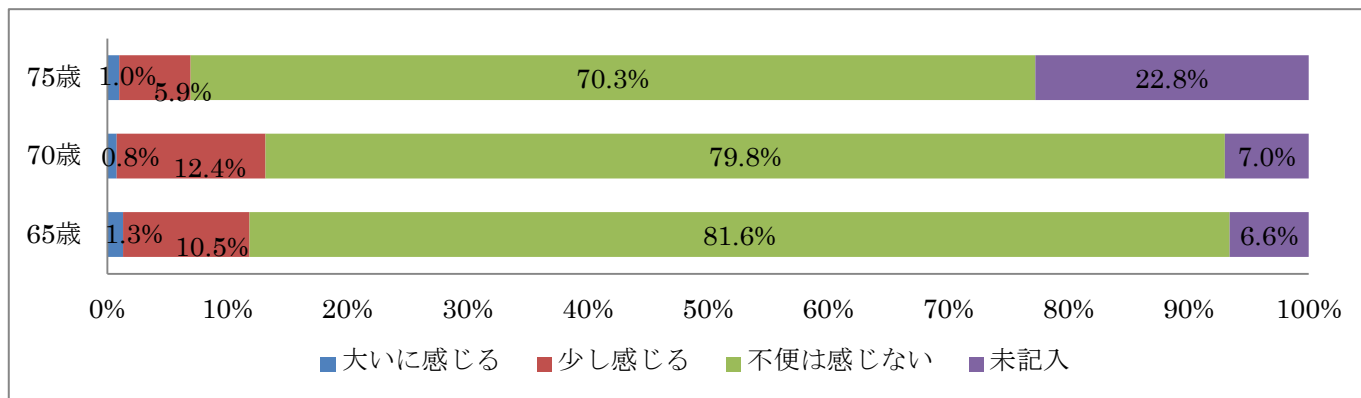
(2) 回答した内容（複数回答可）→別紙参照

【問6】 食料品や日用品をよく買物するお店（複数回答可）



【問7】よく買物するお店について（自由記載）→別紙参照

【問8】買物への不便を感じているか



【問9-①】不便を感じる理由（複数回答可）

※問8で不便を「大いに感じる」「少し感じる」に選択した者のみ回答

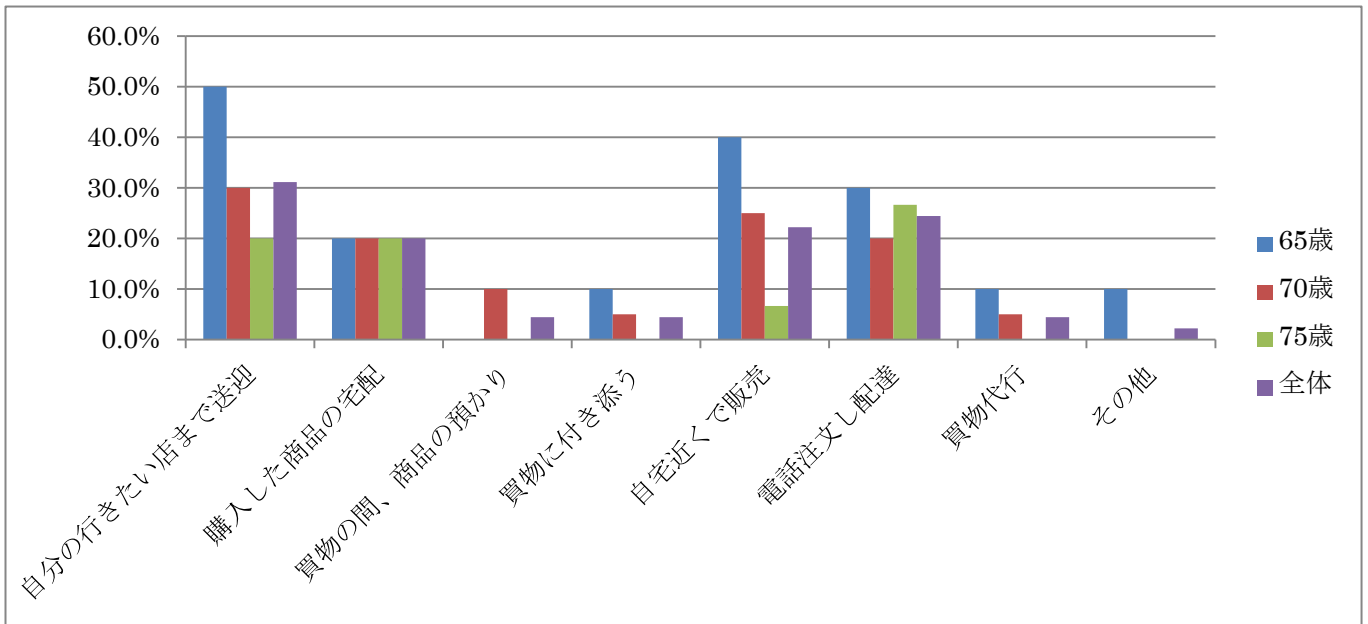


【自由記載】

ひざが痛くて長く歩けない。重いものが持てない。近いけど品数が少なくて困る。買物をする時間に対する手間感。

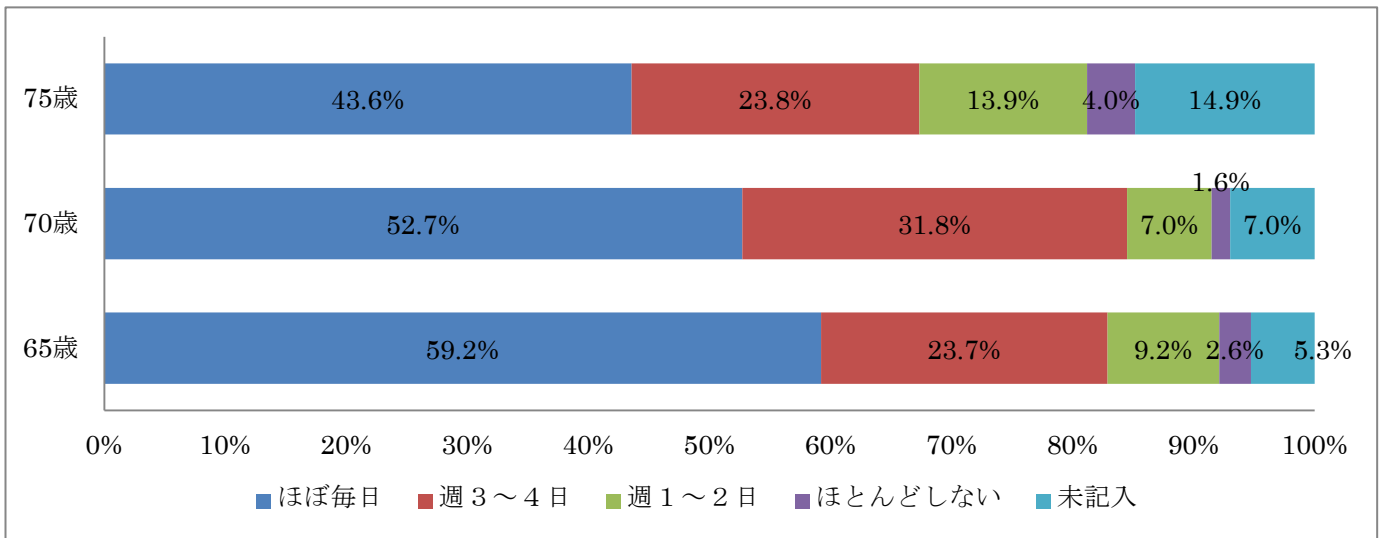
体力の低下が予想される75歳より65歳・70歳の方が買物への不便を感じている。理由として65歳は「店までの距離が遠い」「交通機関が不便」が多く、買物の利便性が悪いことが考えられる。年齢とともに「車や自転車の運転に不安」が増加しており、移動動作自体に不安を感じている傾向にあると考えられる。

【問9-②】 不便な状況を改善するための方法として、あるといいと思うサービス（複数回答可）



全体的に、「送迎」「自宅近くで販売」の順に回答が多い。

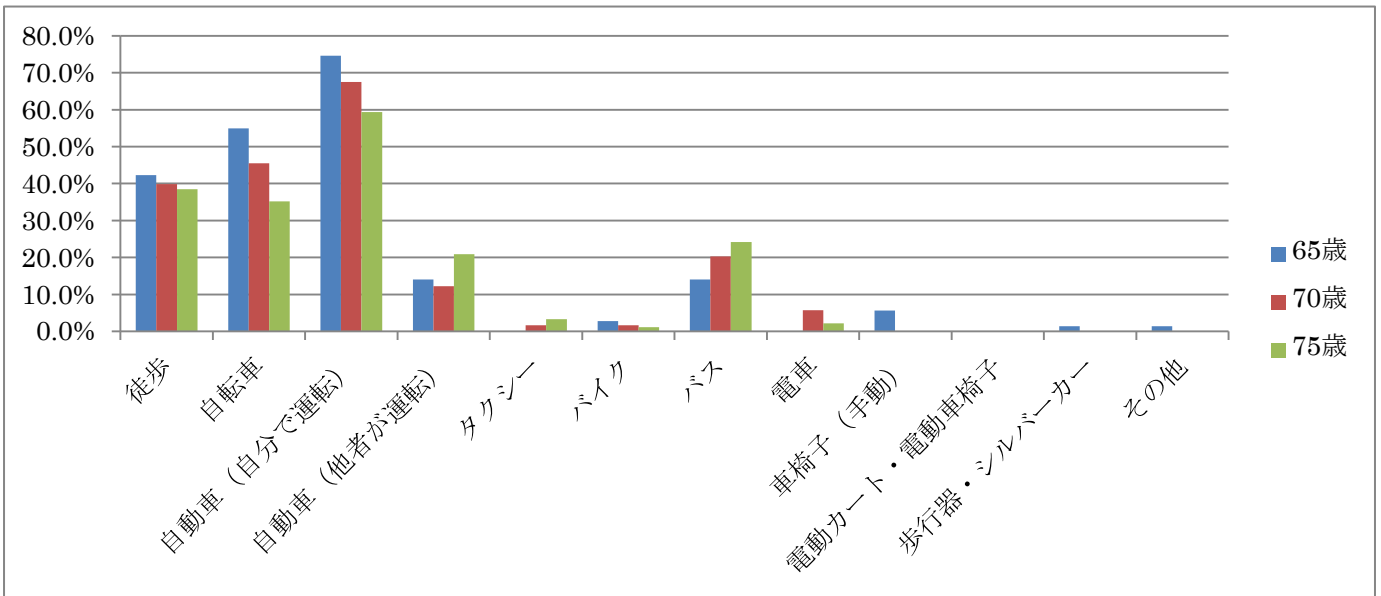
【問10】 1週間の外出状況



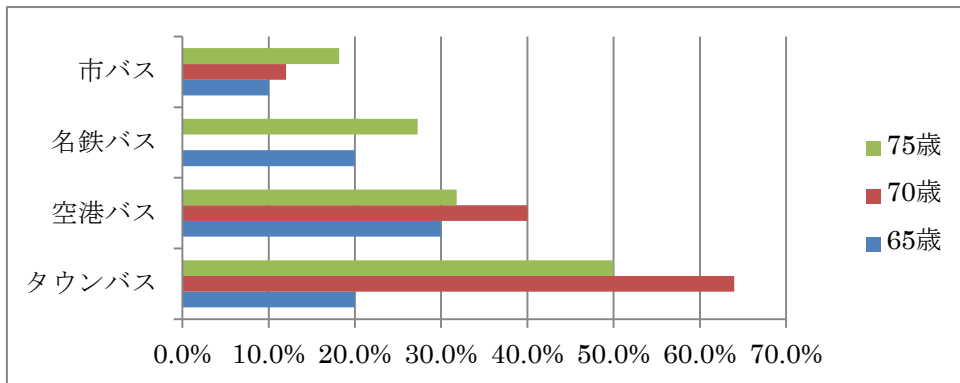
年齢が上がるほど、外出頻度が低下している。

【問11】 よく行く外出先（複数回答可） →別紙参照

【問1 2】 外出先への移動手段（複数回答可）

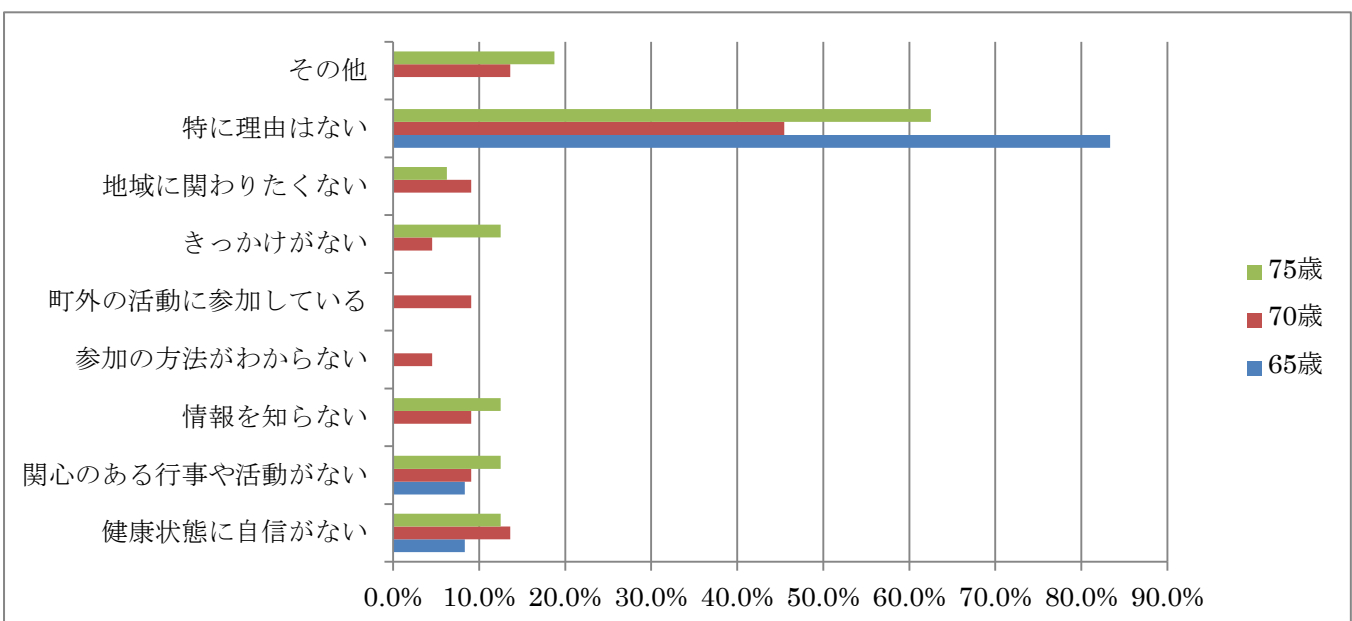


（バスの内訳）



75歳の方でも約60%は車の運転をしている。「豊山町は車社会」という自由記載もあり、車への依存が強い特徴がある。年齢が上がるほど「自分で運転」が減り、「他者の運転」や「交通機関」が増加している。

【問1 3】 外出しない理由（複数回答可）



【自由記載】 億劫だから、遠くて行けない、仕事している

「特に理由がない」と回答された方たちに包括支援センターから外出先の紹介等のきっかけ作りが必要。